

日本の輸出管理におけるCISTECの役割 一産官学をつなぐ存在として

一般財団法人 安全保障貿易情報センター
藤本 修

目次

1. CISTEC概要
2. ICP、日本モデルの鍵
3. 産官学をいかにつなぐか
4. 学界、教師として、生徒として
5. JAIST(日本安全保障貿易学会)
6. 課題

1. CISTEC概要(1)

- ❖ 1989年創立
 - 「東芝機械事件」(1987)の教訓から
 - 産業界からの資金によって
- ❖ 日本で唯一の輸出管理専門の非営利
非政府組織
- ❖ 賛助会員: 約400社
(日本の主要輸出企業が会員)
- ❖ 従業員: 約40名

1. CISTEC概要(2)

❖使命

世界平和への貢献

- 合理的で効率的な安全保障輸出管理への支援 と
- 安全保障輸出管理の産官学連携チャンネルとして機能することを通じて



1. CISTEC概要(3)

❖ 主要な活動

- ①「安全保障輸出管理委員会」の運営
 - － 産業界の意見を集約し、パブリックコメントや政府への提言へ

- ② 出版・サービス
 - － 各種ツール、マニュアル、ガイダンスの発行
 - － セミナー開催、相談サービス
 - － オンライン情報提供サービス
(Webサイト、データベースサービス)
 - － 技能認定試験

- ③ 安全保障輸出管理の調査・分析

1. CISTEC概要(4)

❖ 財政基盤

年間予算: 約6百万ドル

① 賛助会費: 40%~

② 出版・サービス: 55%~

2. ICP、日本モデルの鍵(1)

❖ 背景

① 日本の歴史・文化:

島国・鎖国⇒内向きな文化・村社会

信用を失うことを極度に嫌う文化

第二次世界大戦の経験⇒戦争忌避

② 日本政府の政策:

— 武器禁輸政策(1967年以来)

— ICPをベースとする企業の自主管理を強く要請(1987年以来)

— 包括許可証申請時にICPの提出義務づけ及びICPに基く実際の内部管理実施状況を
実地検査

2. ICP、日本モデルの鍵(2)

❖ CISTECからモデルICPを発刊

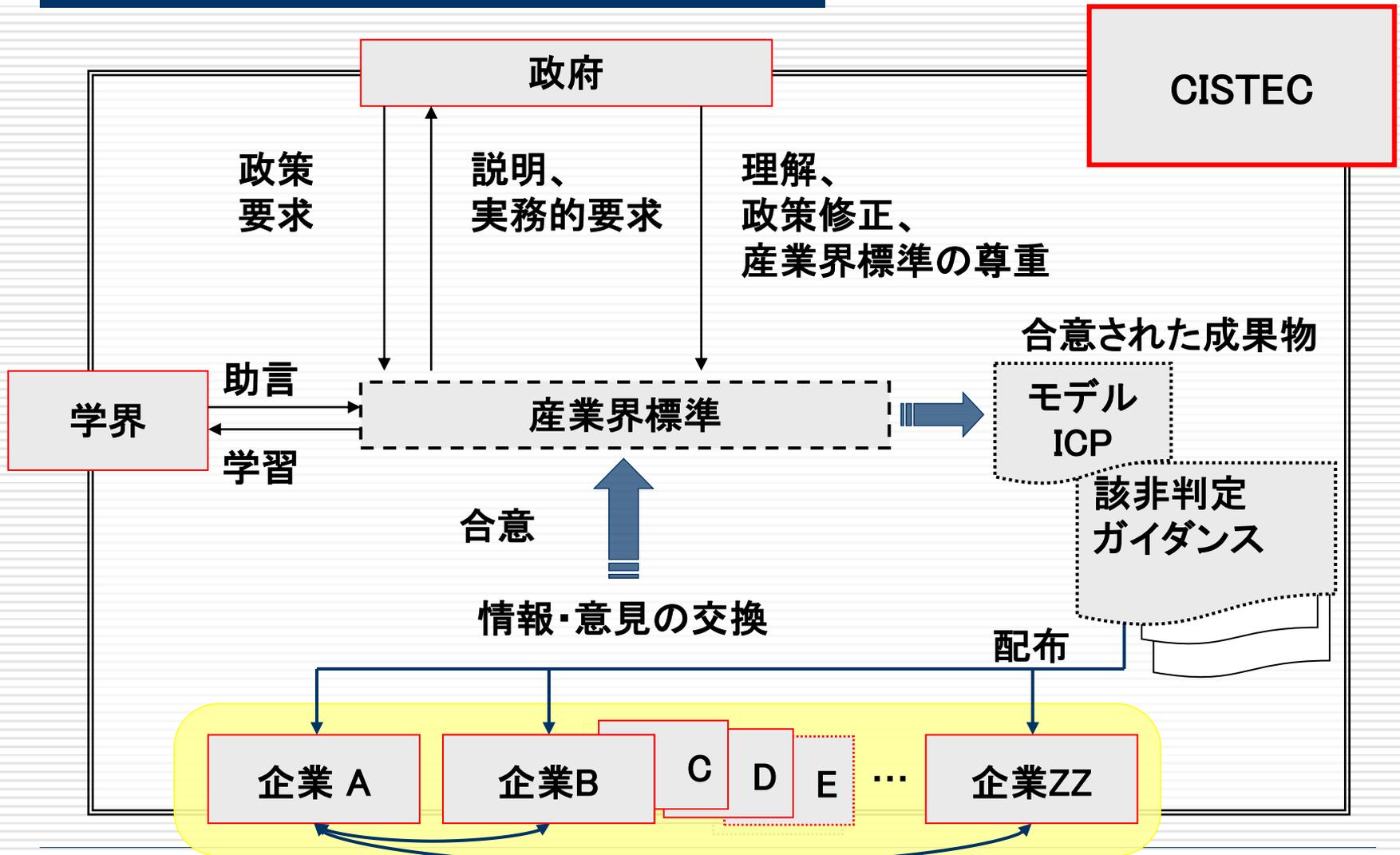
① 6タイプを用意

	メーカー	商社
大企業	1A	1B
中企業	2A	2B
小企業	3A	3B

② 内容

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 総則 | 5. 出荷管理 | 9. 子会社指導 |
| 2. 基本政策 | 6. 監査 | 10. 報告 |
| 3. 組織 | 7. 教育訓練 | 11. 罰則 |
| 4. 手続 | 8. 書類管理 | |

3. 産官学をいかにつなぐか



4. 学界、教師として、生徒として(1)

教師として

- 法律、国際政治学、各種技術等の専門的知識
- 客観的で中立な意見

生徒として

- 実際のビジネスの知識
- 大学、研究所等での輸出管理体制構築
ノウハウ

4. 学界、教師として、生徒として(2)

❖ 大学会員制度

- 2009年よりサービス開始
- 安価な会費
- 文部科学省と協力し、大学専用のガイダンスを提供
- 輸出管理専門家の講師派遣

5. JAIST (安全保障貿易学会)

=Japan Association of International Security and Trade

- 2005年 学者・企業人・官僚の有志により設立
- 安全保障貿易管理に関する学術研究促進を目的とする
- 産官学の知識共同体をめざす
(CISTECは事務局として貢献)
- 定期的研究大会の開催

6. 課題

❖ 産業界の底上げ

特に、認識もリソースもスキルも欠けている
中小企業の底上げ

- 2010年4月、政府は法律改正を実施
すべての輸出者が「輸出者等遵守基準」に従うことを義務化
- CISTECは2010年8月より2011年3月まで
「中小企業支援センター」を立ち上げ、政府の
費用負担により、無償相談サービスを実施
- 2012年4月 該非判定支援サービスの開始
- 大企業OB等、輸出管理専門家の紹介



ご清聴ありがとうございます

CISTEC English Top page

<http://www.cistec.or.jp/english/index.html>